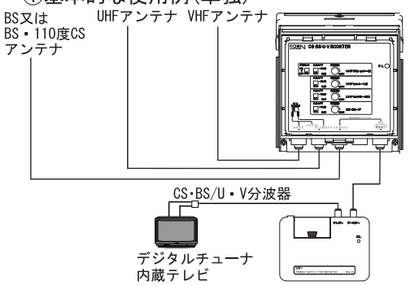
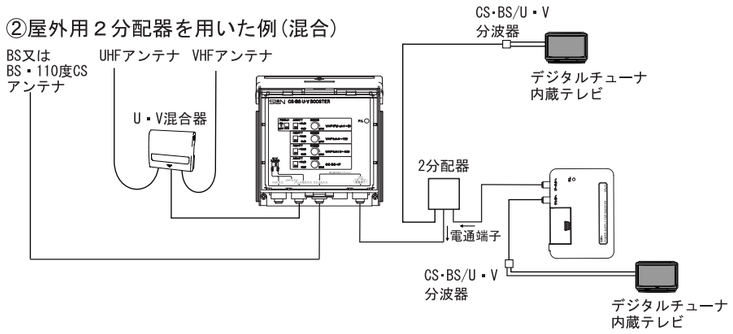
●使用例

①基本的な使用例(単独)



②屋外用２分配器を用いた例(混合)



●トラブルシューティング

症　状	原　因	対　策
テレビの画面に何も映らない	誤接続	配線・接続を確認してください。特に、入力切換スイッチの位置を確認してください。
	配線のショート・断線	配線・接続を確認してください。特に、増幅部と電源部の間に分配器等が接続されていれば電流通過端子へ接続されている事を確認してください。
アナログ放送で画面にスノーノイズが出る(テレビ画面に雪が降ったようなザラザラの状態)	各アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を上げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
アナログ放送で画面にピート縞が出る(テレビ画面に縞模様が出た状態)	ＦＭ放送の受信レベルが高い	ＦＭカットスイッチをカット側(上側)にします。
	各アンテナからの入力レベルが高い(定格出力オーバー)	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を下げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
アナログ放送でワイパー現象やゴーストが出る	他の電波との混信や建物などによる電波の反射	本器では改善できません。障害を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
デジタル放送でブロックノイズが出る	各アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を上げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
	各アンテナからの入力レベルが高い(定格出力オーバー)	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を下げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
	外部からの妨害電波	本器では改善できません。障害を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

●ブースタは正しくお使いください。

ブースタを正しく取り付けないと自分の家やご近所のテレビの写りが悪くなることがあります。

■入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
■入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースタに巻きつけないでください。
■アンテナマストに取り付ける場合は、UHFアンテナ、ＶＨＦアンテナ、ブースタをそれぞれ１m以上離してください。
■本品を設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらない場合や下がる場合がありますが、本品の不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信ＣＮ比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

■この商品は今後改良・性能向上のため、予告なく形状及び特性を変更することがあります。

デジタル放送受信のトータルプランナー
サン電子株式会社

本　　社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-3-12
TEL.03(3374)0081(代)　FAX.03(3376)8801

埼玉事業所　〒367-0111 埼玉県児玉郡美里町古郡667-2
TEL.0495(76)3681(代)　FAX.0495(76)3688

営　業　所　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・埼玉・横浜・千葉
多摩・仙台・仙北・仙南・神戸・小山・静岡・札幌・群馬

ホームページ　http://www.sun-ele.co.jp

キ　リ　ト　リ

SUN
保証書

サン電子商品をお買い上げいただきありがとうございます。本商品の品質に関しまして裏面保証規定の通り保証いたします。本保証書の再発行はいたしませんのでお手許に大切に保管してください。

サン電子株式会社
本　社　東京都新宿区西新宿4-3-12
TEL　03(3374)0081(代)
埼玉事業所　埼玉県児玉郡美里町古郡667-2
TEL　0495(76)3681(代)
営業所　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・埼玉・横浜・千葉・多摩・仙台・仙北・仙南・神戸・小山・静岡・札幌・群馬

商　品　名	CBF-33SWA・CBF-33SUA・CBF-40SWA・CBF-40SUA
お　客　様	ご住所　〒
	ご芳名
	電話
お買い上げ年月日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より１年間　年　月　日迄

見　本

販　売　店	
店　名	印
住　所	
電話　(　)	

取扱説明書

サン電子の商品を正しくご使用していただくために
取扱説明書をよくお読みください。

デジタル放送ならサン電子におまかせ!

SUN
KT－512－3

このたびはサン電子の商品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

ホーム用電源分離型ブースタ（屋内外用）

保証書付
(裏表紙の下側が保証書となってます)

■33dB型CS・BS・U・Vブースタ
CBF－33SWA

■33dB型CS・BS・UHFブースタ
CBF－33SUA

■40dB型CS・BS・U・Vブースタ
CBF－40SWA

■40dB型CS・BS・UHFブースタ
CBF－40SUA

DP-26(電源部)　CBF-33SWA(増幅部)
屋内用　屋内外用

●特　長

■妨害信号の飛び込みを防ぐ高シールドタイプの電源分離型ブースタです。
■防雨構造になっていますので、屋外のマストへ取付け可能です。
■各増幅帯域に－10dBの入力アッテネータと０～－10dBの利得調整機能を備えているので、レベル調整が容易に行えます。
■微弱電界地域で有効なＵＨＦプリアンプ用の電源スイッチを搭載。(CBF-33SUAのみ)
■携帯電話帯域（800MHz帯）対策フィルタにより携帯電話等の妨害信号による障害を軽減しています。
■弱電界地域でも安定した画像が得られるローノイズ設計です。
■消費電力を低減した省エネ設計に加え、トラッキング対策用電源プラグを採用しています。

●標準規格 ■増幅部

項　目	CBF－33SWA				CBF－33SUA			CBF－40SWA			
周波数帯域(MHz)	FM・VHF(L)	VHF(H)	UHF	CS・BS－IF	FM・VHF	UHF	CS・BS－IF	FM・VHF(L)	VHF(H)	UHF	CS・BS－IF
	76～108	170～222	470～770	1032～2610	76～222	470～770	1032～2610	76～108	170～222	470～770	1032～2610
利得(dB)	23～28	26～32	27～35	22～33	通過損失－2.0以下	27～35	22～33	30～35	35～40	34～40	22～33
適正入力レベル(dBμ)	40～77(※197)	40～73(※193)	40～76(※196)	45～70(※190)	—	40～76(※196)	45～70(※190)	40～70(※190)	40～65(※185)	40～71(※191)	45～70(※190)
定格出力レベル(dBμ)	105(2波)	105(5波)	111(2波)／103(※2)	103(24波)／100(36波)	—	111(2波)／103(※2)	103(24波)／100(36波)	105(2波)	105(5波)	111(2波)／103(※2)	103(24波)／100(36波)
利得調整範囲(dB)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	—	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)
入力ATT(dB)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	—	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)
FM帯域減衰量(dB)	※3 0,－15以上(切換式)	—	—	—	—	—	—	※3 0,－15以上(切換式)	—	—	—
雑音指数(dB)	3.5以下	3.5以下	3.0以下(※4 3.5以下)	7.0以下	—	3.0以下(※4 3.5以下)	7.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下(※4 3.5以下)	7.0以下
入力切換	混合(U・V)、単独(U／V)			—	混合(U・V)、単独(U／V)		—	混合(U・V)、単独(U／V)			—
入力インピーダンス(Ω)	75(F形)		75(F形)	75(F形)	75(F形)	75(F形)	75(F形)	75(F形)		75(F形)	75(F形)
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)				75(F形)			75(F形)			
VSWR	3.0以下	3.0以下	3.0以下	2.5以下	3.0以下	3.0以下	2.5以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	2.5以下
混変調(dB)	－46以下	－46以下	－46以下	—	—	－46以下	—	－46以下	－46以下	－46以下	—
相互変調(dB) IM2	－53以下	－53以下	—	－31以下	—	—	－31以下	－53以下	－53以下	—	－31以下
相互変調(dB) IM3	－52以下	－58以下	－68以下	－55以下	—	－68以下	－55以下	－52以下	－58以下	－68以下	－55以下
電源電圧・電流	DC15V CS・BSコンバータ4W送電時:420mA 本体のみ:150mA(出力端子より重畳)				DC15V CS・BSコンバータ4W送電時:370mA DC15V UHFプリアンプ50mA送電時:150mA DC15V CS・BSコンバータ4W・UHFプリアンプ50mA送電併用時:420mA 本体のみ:100mA(出力端子より重畳)			DC15V CS・BSコンバータ4W送電時:430mA 本体のみ:160mA(出力端子より重畳)			
使用温度範囲(℃)	－20～＋50				－20～＋50			－20～＋50			
寸法(mm)	141.5(H)×143(W)×58.5(D)				141.5(H)×143(W)×58.5(D)			141.5(H)×143(W)×58.5(D)			
質量(g)	480				480			480			

項　目	CBF－40SUA		
周波数帯域(MHz)	FM・VHF	UHF	CS・BS－IF
	76～222	470～770	1032～2610
利得(dB)	通過損失－2.0以下	34～40	22～33
適正入力レベル(dBμ)	—	40～71(※191)	45～70(※190)
定格出力レベル(dBμ)	—	111(2波)／103(※2)	103(24波)／100(36波)
利得調整範囲(dB)	—	0～－10以上(連続可変)	0～－10以上(連続可変)
入力ATT(dB)	—	0,－10(切換式)	0,－10(切換式)
FM帯域減衰量(dB)	—	—	—
雑音指数(dB)	—	3.0以下(※4 3.5以下)	7.0以下
入力切換	混合(U・V)、単独(U／V)		—
入力インピーダンス(Ω)	75(F形)	75(F形)	75(F形)
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)		
VSWR	3.0以下	3.0以下	2.5以下
混変調(dB)	—	－46以下	—
相互変調(dB) IM2	—	—	－31以下
相互変調(dB) IM3	—	－68以下	－55以下
電源電圧・電流	DC15V CS・BSコンバータ4W送電時:390mA 本体のみ:120mA(出力端子より重畳)		
使用温度範囲(℃)	－20～＋50		
寸法(mm)	141.5(H)×143(W)×58.5(D)		
質量(g)	480		

■電源部

項　目	DP－26	
周波数帯域(MHz)	10～770	770～2610
挿入損失(dB)	1.0以下	1.5以下
入力インピーダンス(Ω)	75(F形) DC重量端子	
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)	
VSWR	2.5以下	2.5以下
電源電圧	AC100V(50／60Hz)	
消費電力	10.0W	
出力電圧・電流	DC15.0V 最大0.5A	
使用温度範囲(℃)	－10～＋40	
寸法(mm)	96(H)×135(W)×40(D)	
質量(g)	270	

※1：入力ＡＴＴ(－10dB)及び利得調整(－10dB)を併用した時の値です。
また、ＵＨＦ帯域においてはアナログ２波の値です。
※2：アナログ７波＋デジタル９波(－10dB運用)
※3：76～85MHzの減衰量
※4：710～770MHz

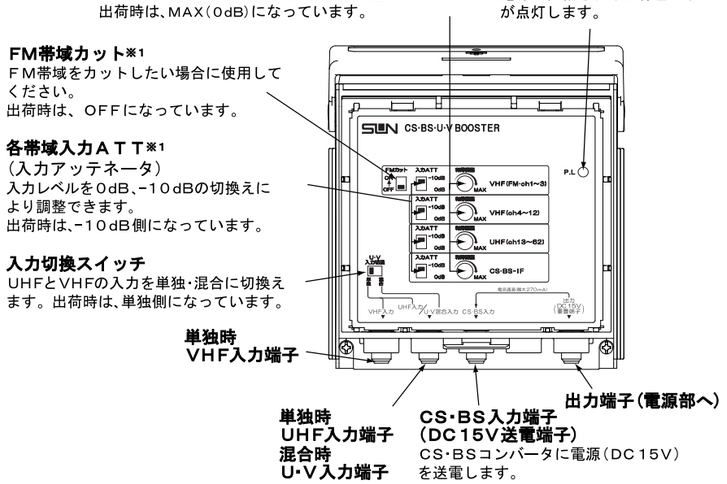
SUN ELECTRONICS CO.,LTD.

●各部の名称

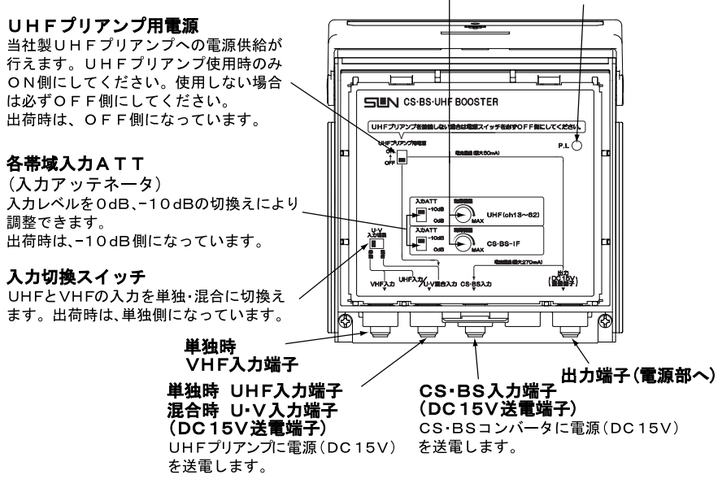
■増幅部（屋内外用）

（CBF−33SWA、CBF−40SWA、CBF−40SUA）

※1：CBF−40SUAにFM帯域カット、VHF帯域入力ATT（入力アッテネータ）及び利得調整機能はありません。



（CBF−33SUA）

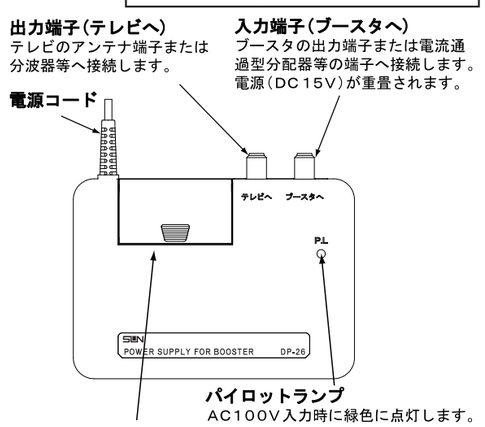


■電源部（屋内用）

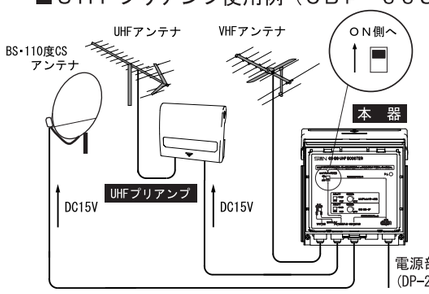
（DP−26）

⚠ 注意

電源部にはスイッチがありません。AC100Vコンセントを接続すると、ブースタ端子から電流が流れますので、配線終了後、電源を差込んでください。



■UHFプリアンプ使用例（CBF−33SUA）



⚠ 注意

※UHFプリアンプの取扱説明書も合わせてご覧ください。
※電源部は付属のDP−26を必ずご使用ください。
他の電源部では、性能の劣化や、故障の原因となります。
※当社指定以外の機器を接続した場合や、プリアンプを接続せずに電源供給を行った場合、電源のショートや機器の故障の原因となりますのでご注意ください。

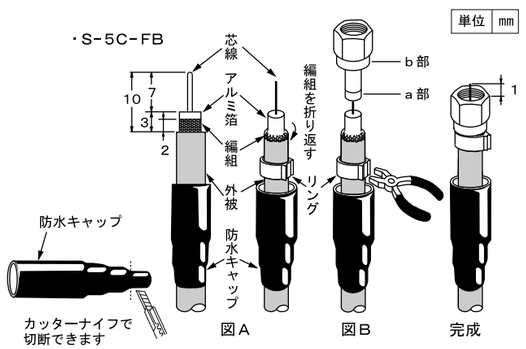
対応UHFプリアンプ　■HB−U25MA　■SKB−U25MA
当社型番一覧　■HB−U25M　■SKB−U25M
※最新対応情報については、当社ホームページにてご確認ください。

http://www.sun-ele.co.jp

●同軸ケーブル及び防水キャップの加工方法（F形接栓の締付トルク：2N・m）

1. 防水キャップを同軸ケーブルの太さに合わせて切断し、同軸ケーブルを加工する前に同軸ケーブルに通します。
2. 同軸ケーブルを図Aのように加工し、編組を折り返します。
3. リングを同軸ケーブルに通し、F形接栓のa部をアルミ箔と編組の間に挿し込み回転させながら、b部が、同軸ケーブルの外被に当たるまで押し込みます。さらに、同軸ケーブルが抜き取れないようにリングのツメ部を図Bのようにペンチ等ではさみ込み締付けます。
4. 最後に芯線をニッパー等で切断します。

※7C同軸ケーブルを使用の際は別途ピン付コネクタをご使用ください。
※F形接栓は使用同軸ケーブルにあったものをご使用ください。付属品としてF−5接栓が入っています。
※BS−IF帯及びCS−IF帯を使用する際は、別途C15形接栓をご使用ください。
※接栓を取り付けた同軸ケーブルの芯線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。

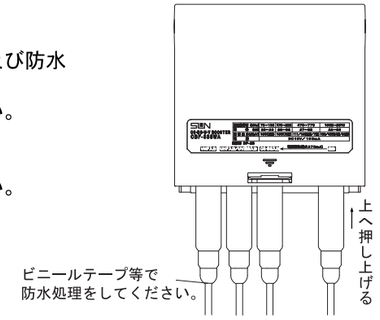


⚠ 注意

ペンチ・ニッパー等の使用の際には十分ご注意ください。
また、芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。

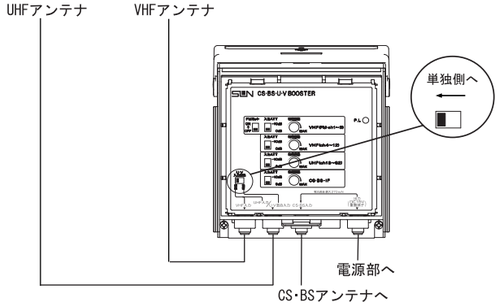
●端子と同軸ケーブルの接続方法

■ケーブルの加工及び防水キャップの加工は「同軸ケーブル及び防水キャップの加工方法」を参照してください。
■加工した同軸ケーブルは増幅部の各端子に接続してください。
F形接栓の締付トルク：2N・m(約20kgf・cm)
■防水キャップを押し上げてケースにかぶせてください。
■使用しない端子にも必ず防水キャップを取り付けてください。
■作業後は必ずフタが閉まっていることを確認してください。
■電源部は防水キャップを取り付けずに接続してください。

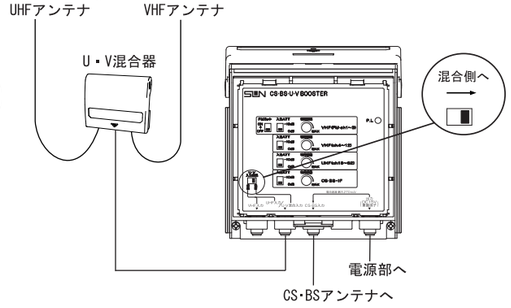


●入力切換スイッチの操作方法

■U／V単独入力の場合
入力切換スイッチを単独（左側）にしてください



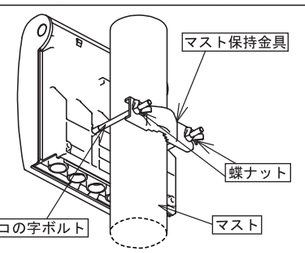
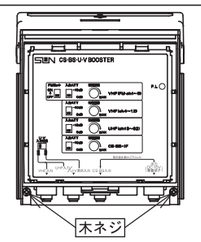
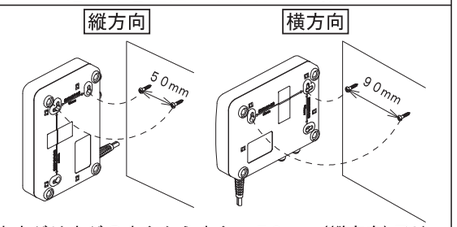
■U・V混合入力の場合
入力切換スイッチを混合（右側）にしてください



●付属品

F−5接栓……6個	取扱説明書（保証書付）……1部
防水キャップ……4個	安全上のご注意……1部
±丸木ネジ　3.1×16……4本（内2本は増幅部に装着済）	

●取付方法

増幅部をマストに取り付ける場合	増幅部を壁面に取り付ける場合	電源部を壁面に取り付ける場合
		
●コの字ボルトを垂直に上げ、本体とマスト保持金具でマストを挟み、蝶ナットでしっかり締め付けてください。マストの径はφ16.0～φ48.6です。	●ドライバーを使用し、木ネジで固定してください。 ●壁面へ取り付ける場合は蝶ナットとマスト保持金具を取り外して取り付けてください。	●木ネジはネジの中心から中心へ50mm（縦方向）又は90mm（横方向）の距離に取り付けてください。 ●木ネジの頭と壁の間は2mm～3mmあけてください。 ●2本のネジに電源部を引っ掛けてください。 ●電源部は壁に掛けて使用するだけでなく、置いて使用する事もできます。

キ リ ト リ

保証規定

万一故障の際は現品をお買上店経由、最寄の当社営業所宛にお送りください。故障状況を故障内容欄に必ず記入してください。
次の原因による故障は保証いたしかねます。

1．保証書の有効期間を経過している場合。
2．火災、浸水、その他天災により故障が生じた場合。
3．不慮の事故、使用上の誤りが原因である場合。
4．当社以外で修理又は改造により故障が生じた場合。
5．本保証書にお買上げ販売店の捺印および記入欄に記入のない場合。

上記に該当する場合は全て有償修理となります。

見本

故障内容	

電源部縦方向壁掛け用ネジピッチ：50mm
電源部横方向壁掛け用ネジピッチ：90mm